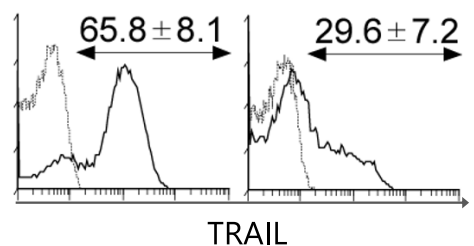
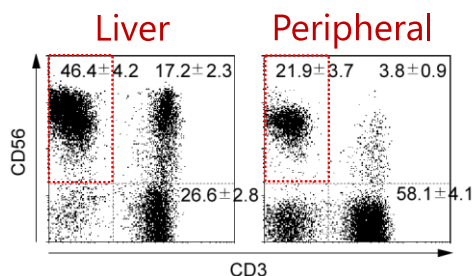
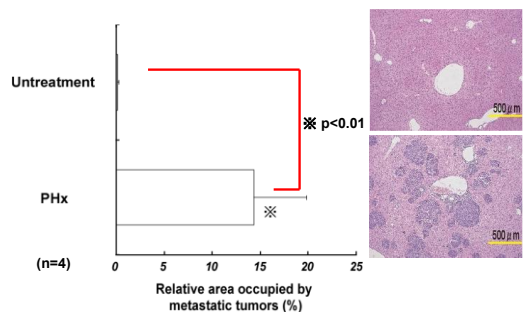
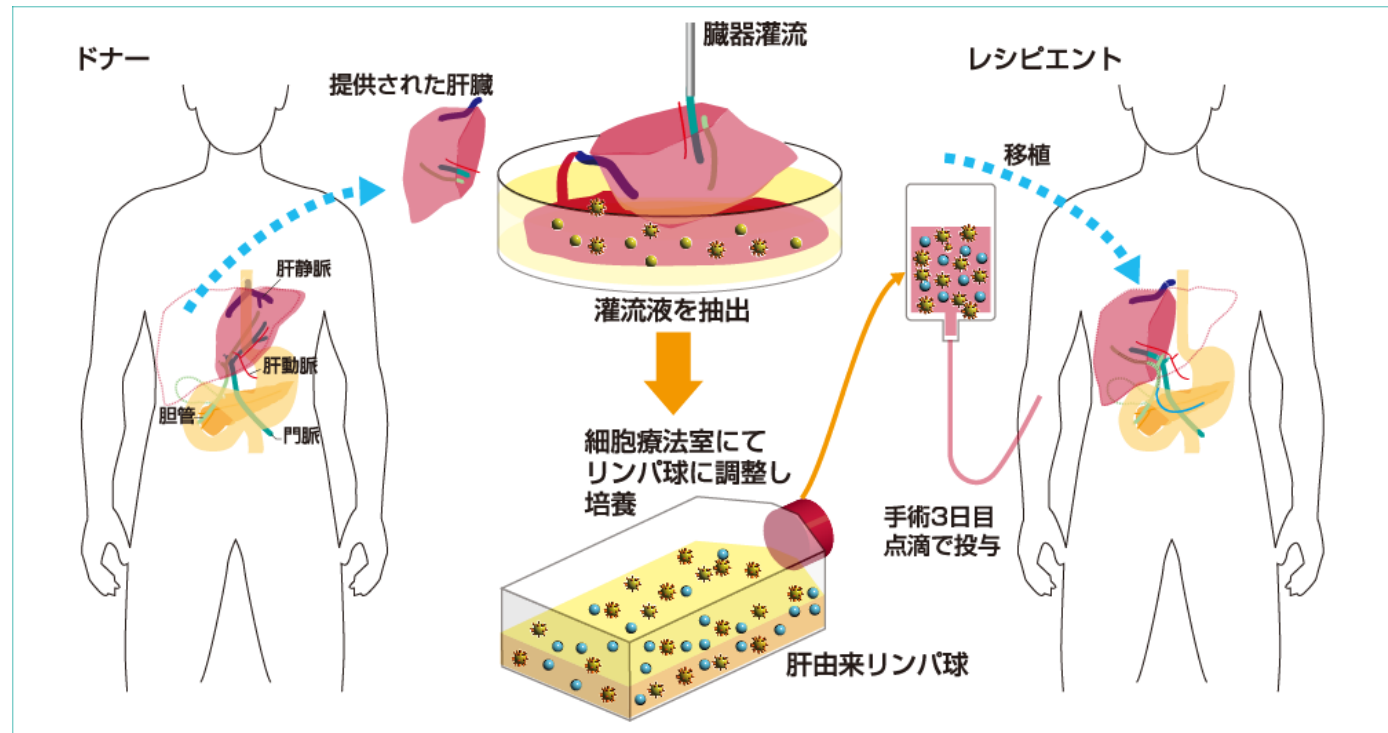
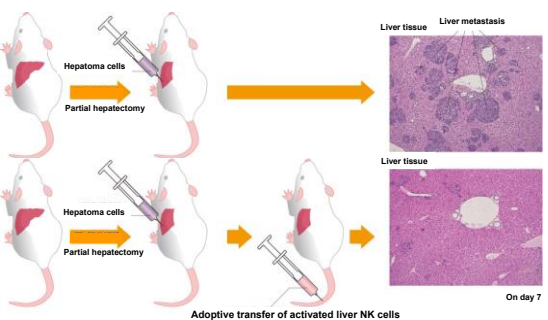


# ドナー肝臓由来ナチュラルキラー（NK）細胞を用いた 肝臓移植後の肝細胞癌に対する補助免疫療法

広島大学 消化器・移植外科



Ishiyama K, Ohdan H, et al. Hepatology 2006



70%肝切除マウスに対して、門脈内から肝癌腫瘍株(Hepa 1-6)を $5 \times 10^5$ 個注入した後に、活性化肝内在性NK細胞を $5 \times 10^5$ 個尾静脈から投与すると、肝臓内腫瘍の増殖は抑制された。

NK細胞の割合は、肝臓内で46.4%、末梢血で21.9%であった。また、サイトカインで3日間培養した後のNK細胞上に表出する抗腫瘍分子TRAILは肝臓内で65.8%、末梢血で29.6%であった。

肝移植時のドナーグラフト肝臓灌流液からリンパ球を抽出して、IL-2で3-5日間刺激培養を行う。投与1日前に、抗CD3抗体を添加してT細胞除去を行い、肝臓移植後のレシピエントに経静脈的投与を行う治療法。